



保健医療学部通信

ごあいさつ

保健医療学部長 乾 公美

錦秋の候、保護者の皆さまにおかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より本学の教育・研究活動にご理解とご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび、保健医療学部通信第1号が完成しましたのでお届けいたします。

保健医療学部では、札幌医科大学の建学の精神「進取の精神と自由闊達な気風」「医学・医療の攻究と地域医療への貢献」のもと、質の高い医療を提供しうる看護師・保健師、理学療法士、作業療法士を育成するべく、日々の教育・研究活動に取り組んでおります。

こうした大学の理念のもと、学生たちは、将来、人々のニーズに応えうる高度な専門職として北海道の保健医療の充実と発展に貢献し、それぞれの専門領域を牽引するリーダーとなるための能力を4年間で獲得することが期待されております。そのため、看護学科・理学療法学科・作業療法学科いずれにおいてもおしなべて高い到達目標が設定されており、学生たちは常に主体的な学習行動が求められる環境で、厳しく多忙な大学生活を送っています。重い責任を担う医療人となるための月日は、現代の若者にとって決して容易ではないとを私たち教職員は十分に理解し、未来への夢に近づく充実した4年間の学生生活となるように支援していきたいと考えております。

今年度からは、これまでの学生支援のあり方を見直し学生支援体制の充実に向けた新たな取り組みを開始しております。取組みの一つとして、学生たちを最も近くで見守り、支えてくださっている保護者の皆さまとの連携を強め、共に学生を支援する体制づくりを目的に、新入生保護者説明会および在校生保護者懇談会を開催する他、保護者の皆さまへ学業成績を送付することといたしました。

この保健医療学部通信では、学部の最近の状況を皆さまへお届けし、学部に対する理解を深めていただく機会にしたいと考えております。ご一読いただき、大学での学生たちの様子を垣間見ていただければ幸いです。

私たち教職員は保護者の皆さまと共に、学生たちが札幌医科大学保健医療学部の卒業生としての誇りをもてる教育を推し進めていきたいと考えております。

今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



合格発表 3月7日(金)



入学式 4月5日(金)



学部開設20周年記念講演会 6月21日(金)

2013年前期学事・実施報告

4月 3日(水)～ 4日(木)	新入生オリエンテーション・新入生フォーラム
4月 5日(金)	入学式・新入生保護者説明会
4月 8日(月)～10日(水)	「保健医療総論1」
4月15日(月)	前期講義開始
6月13日(金)～16日(日)	大学祭
6月21日(金)	保健医療学部開設20周年(短期大学部開設30周年) 記念講演会
6月25日(火)	大学記念日
8月 5日(月)～9月6日(金)	夏季休業

■「保健医療総論1」



平成25年4月8日(月)～10日(水)の3日間、1年生は通常の講義に先立ち、「保健医療総論1」を学びました。「保健医療総論」は本学部の特徴を活かし、学年毎に3学科合同で実施する授業で、4年間の積み上げ式学習により医療人としての倫理的態度を習得するとともに、3学科合同で取り組むことにより多様な価値観やチームアプローチを学ぶことを目的としています。

「保健医療総論1」では基本的コミュニケーションの概念および技術の習得を学習目標として、講演プログラムや対人マナーを学ぶロールプレイング、グループワーク、さらに大学および附属病院の教職員を対象としたインタビュー演習、報告会など、演習を中心としたプログラムを実施しました。学生は学習を通し病気や障害を持つ人々との意思疎通や、医療現場における確実な情報伝達など、目指す医療専門職に求められる質の高いコミュニケーション力の醸成に向けた基礎を習得しました。

学習を終えた1年生からは、「対応する人によって意識的に考えて話す、行動することの大切さを実感した」「非言語コミュニケーションによる自己表現について深く考えさせられた」「コミュニケーション力を高め、信頼される医療人になりたい」といった前向きなレポートが提出されました。

2年生の「保健医療総論2」では施設実習を行い、介護保険制度下の高齢者との関わりを通して対象者生活および保健医療専門職の関わりについて学びます。



■新入学生フォーラム

平成25年4月4日（木）、「保健医療学部新入生フォーラム」を開催しました。

「新入生フォーラム」は、新入生を対象とした後援会事業で、医療人を目指す大学生として身につけておくべきコミュニケーション・スキル学ぶことを目的としています。

講演では「人とのかかわりにおいて、知っておいてほしいこと～大学生のためのコミュニケーション・スキル～」と題して、講師の濱 保久先生（北星学園大学教授）より、表現力を磨くために意識して心がけることや、大学生活の過ごし方について演習を交えたお話をいただきました。講演会終了後は、学部教員や新入生同士の情報交換会を開催しました。



■新入生保護者説明会

平成25年4月5日（金）新入生保護者説明会を開催しました。この保護者説明会は、保護者の皆様との連携・共同による学生支援の充実を目的として今年度初めて実施し、入学式を終えた60名の保護者の皆様にご参加いただきました。

説明会では、学部長による学部説明をはじめ、単位認定・進級、卒業等の教務関連に関する全体説明、さらにその後の学科別説明会を通して、医療系大学および本学部の特徴について理解を深めていただきました。

ご参加いただいた保護者の方からは、「詳しい説明が聞けて安心した」「教職員の方のサポート体制がよくわかった。子どもががんばれることを確信した」との感想が寄せられました。11月16日（土）には、2～4年生の保護者の方を対象に保護者懇談会を開催する予定です。



■解剖体慰霊式・遺骨返還式

平成25年9月2日（月）、本学の医学教育・研究のために御献体いただいた解剖体及び法医解剖体の慰霊式を執り行いました。

解剖体慰霊式においては、故人および御遺族の皆様に変更して深い敬意と感謝の念を捧げ、大学を挙げて御霊の安らかならんことを祈念し、医学部および本学部理学療法学科・作業療法学科の2年生が出席し、献花を捧げました。

このような解剖の重要性をご理解いただき、生前、御献体の御芳志を寄せられている白菊会会員の皆様には敬意を表するとともに、火葬されました解剖体の御遺骨を御遺族に返還し、その篤志に感謝申し上げ、文部科学大臣および本学島本学長からの感謝状を贈呈しました。



各学科における学生生活

～学生担当教員より～

■看護学科 1学年学生担当教員 和泉比佐子 佐藤公美子

看護学科の学生50名はとても元気に大学生活をエンジョイしております。大学生になった自由と責任を日々かみしめながら自己の目標に向かって頑張っている姿が見受けられます。前期は、自分の興味関心に応じて「一般教育科目」から心理学概論や表現論などを選択し受講しました。また、必修科目である「専門基礎科目」の生物学や解剖学などを学習する中で、初めて聞く医学用語や人体のしくみについては「覚えなくてはいけないことがいっぱい!」「身体のしくみを知り楽しい」と感想を述べております。また、「専門科目」の看護学概論や基礎看護方法の講義では、「看護とは何か」「看護者の役割について」「看護の対象となる人々の様々な健康状態」についての学習を深めています。



7月からの演習では、憧れのユニフォームを着用して“きりっとした姿”で看護技術を学んでいます。後期も前期同様の学習の過程を踏んでいきます。今後、さらに学習内容も難しくなっていきますので、学生には一つずつコツコツと学習を積み上げていくよう、助言をしております。

保護者の方におかれましても引き続き、心身のサポートをいただきますようお願い申し上げます。担当させていただく和泉、佐藤も全力でご支援いたします。

■理学療法学科 1学年学生担当教員 小塚直樹

“Practice makes perfect.”

本年もそれぞれの夢を抱いて、20名の新入生が本学での理学療法学の道を選択されました。まずはそのご決断に敬意を表したいと思います。

理学療法のような医療技術を養成する課程では、実習という重要な学習機会があります。座学だけでは学べない体験を計画的に蓄積していく学習段階です。

「習うより慣れろ」とは、良く表現されたもので、1年生諸君は6月末から、本学附属病院でユニフォームを着用し、短時間ですが見学を体験しました(写真)。またその体験の記憶も新しい9月には、学外施設において5日間の実習を体験しました。このように当学科では他大学にはないユ



ニークな実習のシステムを備えております。この実習で得られる体験は、確実に医療者としての「心構え」を育てていきます。学年が上がると、次第にその学習段階に、「技術」という要素が加わってきます。この心と技のバランスが、より良き理学療法士の必須条件と考えております。ご家庭からのサポートをよろしく願いいたします。

最後になりましたが、今年度の新入生に対する学科からのサポートは私と副担当の井平で担当していきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

■作業療法学科 1学年学生担当教員 太田久晶

入学当初の1年生20名は、毎日が新しい経験の連続で、戸惑いや不安もあったと思います。しかし、学生同士の親交が深まるにつれ、徐々にそうした問題は解消されたように思います。入学から半年が経過した現在では、すっかり大学生活に馴染んでいるようです。

前期の講義で主なものは、一般教育と基礎医学（解剖学、生理学）、そして作業療法概論であり、現在、作業療法士になるための基礎を構築している段階です。

これまでに、学生担当である私と副担当である中村裕二の2名で、二度の個人面談を実施し、各学生の生活や学習の状況把握を行ってきました。より良い大学生活が過ごせるように、今後もこの個人面談を定期的にも実施する予定であります。

後期の講義は、前期と同様に一般教育、基礎医学に加えて、作業療法で必要とされる作業活動についての学習が始まります。少しずつではありますが、作業療法のもつ奥深さ、興味深さに触れる機会が増えてゆきます。そして、来年1月には、実習衣を着て、1週間の臨床見学実習に臨みます。

実際に作業療法士の仕事を見ることで、この職種に対する関心がより高まるものと考えております。学生一人ひとりが作業療法士を目指すことはもちろんのこと、研究の分野を含めて将来どの領域に進みたいのか、常に考え、そしてその目標に向かって、有意義な4年間を過ごしてもらえよう、教員一同、力を合わせて対応してゆきたいと考えております。

保護者の皆さまには、今後とも本学科の教育へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



2013年後期学事予定

9月30(月)後期講義開始	
10月17日(木)～19日(土)	体育祭
12月 6日(金)	文化芸術祭
12月24日(火)～1月 3日(金)	冬季休業
1月20日(月)～ 24日(金)	作業療法学科 「臨床実習1」
1月27日(月)～ 31日(金)	看護学科 「基礎看護実習1」
2月17日(月)～3月 7日(金)	後期定期試験
3月10日(月)～4月 4日(金)	春季休業



臨床実習の様子（理学療法学科1年生）

大学へのお問い合わせ：札幌医科大学事務局学務課保健医療学部教務係
電話 011-611-2111（内線2192）